

# 4月留学報告書

S.K

4月に入り、同じ学校に通っていた多くの留学生が帰国しました。留学生活では困難を感じることも少なくなかったため彼らの存在は私にとって大きな心の支えでした。放課後や休日には一緒に過ごすことも多かったため、彼らが帰国してしまったことはとても寂しいです。しかし、これからの留学生活では現地の方々と積極的にコミュニケーションを取る良い機会だと捉えています。今月、17歳の誕生日を迎えました。ホストファミリーや現地の友人、そして他の留学生の方々にお祝いしていただき、大変嬉しかったです。友人からは、レゴブロックとローラースケートをプレゼントしてもらいました。ローラースケートは初めての経験で苦労しましたが、友人と一緒に楽しむことができました。



また、今月は2週間の長期休暇があり、その期間中に様々な経験をしました。特に印象的だったのは、現地の友人たちとゲームを通して交流したことです。彼らの多くがゲームを趣味としており、そのコミュニティに参加することができました。友人との親睦を深めることができ、貴重な機会となりました。長期休暇中の目標として、毎日料理をすることに取り組みました。特に日本食を作ることに熱中し、何度か食事を準備する機会がありました。中でも、から揚げは皆に好評で嬉しかったです。これからも料理を続け、レパートリーを増やしていきたいと考えています。その他、友人とともにアイスバケツチャレンジにも挑戦しました。アイスバケツチャレンジは、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) という難病に対する社会の認識を高めるための活動で、SNSを通じ



て参加者が次々と他の人を指名していくという形で広がっています。海外ならではの文化に触れることができ、非常に貴重な経験となりました。

4月末には、地域のバスケットボールクラブチームに入りました。クラブチームよりも立国のバスケ部のレベルが高いため、少し残念に感じました。

今後も様々なことに積極的に挑戦し、充実した留学生活を送りたいと思います。